

## 学位論文審査の要旨

		要 旨
学位申請者	高梨 宏子 【人間発達科学専攻 2010年度生】	
論文題目	外国人生徒の学びを支える教師・支援者の意識変容の学習	<p>本研究の目的は、外国人生徒に指導・支援をする教師・外国人支援者の「意識変容の学習」がどのように生じているのか、その過程を明らかにすることである。本研究は、外国人生徒の母語と日本語を使って学習する「教科・母語・日本語相互育成学習」（相互育成学習）による授業・学習支援を行った公立中学校の国際教室の取り組みに注目し、この取り組みに参加した教師・支援者が、外国人生徒の母語を使うことに対してどのような意識を持ち、変容するのかを分析している。その結果、教員・学習支援者が外国人生徒の母語を意識化するなかで、母語を補助的なものではなく学習を促す役割をもつものへと認識を変えていったこと、授業のあり方を問い直したり、外国人生徒の進路や将来に対する見方を変容させたりしていったこと、外国人支援者が、外国人生徒の母語や教科学習への取り組みに対する前提を問い直していったこと、などが明らかにされている。</p> <p>第1回審査委員会（2019年7月4日）では、論文の構成、序論の長さ、支援者の子育て経験への注目、教科の特性、政策課題と実践的課題、参考文献の記載方法などについて指摘や疑問が出された。</p> <p>これらの指摘を踏まえて修正作業が行われ、第2回審査委員会（2019年8月23日）では、指摘事項に対して適切な対処が行われていることが確認された。2019年9月2日に行われた公開審査会においては、出席者から、支援の具体的な内容や頻度、相互育成学習の理論的根拠、外国人生徒の家庭的背景、分析手法の詳細、教員のもつ「前提」の具体的な内容、研究の社会的意義、等に関する質問が出された。これらの質問に対して、いずれも適切な受け答えがなされた。その後に行われた最終審査委員会（2019年9月2日）では、公開発表と質疑への応答が十分なものであったことが確認された。</p> <p>以上の結果より、本審査委員会は、本論文が博士（社会科学）（Ph. D. in Intercultural Education）にふさわしいと判断し、合格とした。</p>
審査委員	(主 査) 教授 浜野 隆	
	(副 査) 准教授 富士原 紀絵	
	(副 査) 教授 池田 全之	
	(審査委員) 教授 浜口 順子	
	(審査委員) 教授 池田 広子 (目白大学外国語学部)	
インターネット 公表	<p>○ 学位論文の全文公表の可否（ 可 ・ <input checked="" type="checkbox"/> ）</p> <p>○ 「否」の場合の理由</p> <p>ア. 当該論文に立体形状による表現を含む イ. 著作権や個人情報に係る制約がある <input checked="" type="checkbox"/> ウ. 出版刊行されている、もしくは予定されている エ. 学術ジャーナルへ掲載されている、 もしくは予定されている オ. 特許の申請がある、もしくは予定されている</p> <p>※本学学位規則に基づく学位論文全文のインターネット公表について</p>	